

令和3年度年間授業計画

都立板橋高校

教科・科目	国語・国語総合(現代文)	2単位	対象学年・組	1年1組から7組必修
教科書	高等学校国語総合(数研出版)	教科	国語科	
・副教材等	高等学校国語総合準拠ワーク、新訂国語図説、キーワード漢字2700	担当者	佐藤 藍	

目 標	一学期	論理的な文章について、論理の展開や要旨をつかむ。文学的な文章について、人物・情景・心情などをつかみ、表現を味わう。語句の意味・用法を理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞など表現上の特色をつかむ。
	二学期	論理的な文章について、論理の展開や要旨を的確に捉える。論理的な文章を読んで、作者の考えやその展開の仕方などについて意見を書く。文学的な文章について、人物・情景・心情などを的確に捉え、表現を味わう。様々な文章を読むことを通して、人間・社会・自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりする。
	三学期	文学的な文章について、人物・情景・心情などを的確に捉え、表現を味わう。語句の意味・用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色を捉える。文章の理解を深め、興味や関心を広げるために、関連する文章を読んだり、創作的な活動を行ったりする。

学期	月	単元	時間	学習内容
一学期	4月	作文「高校生活の決意表明」／随想「『差』という情報」	24h	高校生活の決意表明を書きながら、書き言葉と話し言葉の違いや原稿用紙の使い方等、書き言葉のルールを学ぶ。／筆者の人生観、世界観を的確に読み取り、自分の問題として受け取りながら、考えを深める。
	5月	随想「『差』という情報」		筆者の人生観、世界観を的確に読み取り、自分の問題として受け取りながら、考えを深める。
	6月	小説「羅生門」		小説の根幹をなす事件の背景となる事項(時・場・人物・事件設定)や「下人」の心理の変化を的確に読み取る。
	7月	表現「スピーチ」		お互いに理解、共感し合えるような話し言葉を身につける。
二学期	9月	評論「水の東西」	28h	「鹿おどし」と「噴水」の特徴を整理し、筆者が指摘する日本と西欧の水に対する感じ方の違いを読み取る。
	10月	詩		リズム・音感・構成。詩に描かれた世界への理解・考察。
	11月	小説「清兵衛と瓢箪」		清兵衛と周囲の大人たちの関係を読み取る。登場人物の行動や発言が表す心理・人物像を理解する。
	12月	小説「ナイン」		正太郎が次々に迷惑な事件を起こしても、かばう英夫が語る言葉をクライマックスとして、そこに至るまでの構成の巧みさを理解する
三学期	1月	評論「時間と自由の関係について」	18h	やや長い評論を丹念に読み解く。思想を、とらえる。
	2月	評論「時間と自由の関係について」		やや長い評論を丹念に読み解く。思想を、とらえる。
	3月	「短歌と俳句」		句切れ・リズム・感動対象と内容への理解・考察。俳句・短歌の創作。表現に対する自己の意見の文章表現。

評価の観点・方法	<p>【観点】①論理の展開や要旨を的確に捉えることができたか。②人物・情景・心情などを的確に捉え、表現を味わうことができたか。③人間・社会・自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすることができたか。④語彙を豊かにするとともに、表現上の特色を捉えることができたか。⑤情報を収集・活用しながら進んで表現することができたか。</p> <p>【方法】定期テストの得点・漢字小テストの得点・提出物(宿題・ノート・意見文や感想文)の得点・授業態度(遅刻数)などを総合的に評価する。</p>
----------	---

令和3年度

年間授業計画

都立板橋高校

教科・科目	国語・国語総合(古典)	2単位	対象学年・組	1年1組～7組必修
教科書	改訂版 国語総合 (数研出版)	教科	国語科	
・副教材等	体系古典文法、体系古典文法学習ノート、新明説漢文、学習課題集、新版三訂カラー版新国語便覧、古文単語315	担当者	小笠原 照和	

目 標	一学期	①古文への興味・関心を深める。②歴史的仮名遣いに注意して音読ができる。③古語辞典や語訳を活用して、大まかな内容をつかむ。④説話、随筆の特色を理解する。⑤古典文法(主として動詞)・重要古文単語を理解する。
	二学期	①品詞に注意して、現代語訳ができる。②話の展開や登場人物の心理を的確に把握する。③歌物語、和歌、軍記物語それぞれの特色を理解する。④古典文法(用言)・重要古文単語を理解する。
	三学期	①漢文の訓読法を理解する。②有名な格言、故事を学習し、漢文の世界に親しむ。

学期	月	単元	時間	学習内容
一学期	4月	古文入門	24h	歴史的仮名遣い・五十音図。
	5月	「宇治拾遺物語」		興味・関心を高めうる古典作品への導入。ことばの単位、品詞、活用。動詞の四段活用。
	6月	「徒然草」		作品の特色。兼好の主張への理解と考察。動詞正格活用。
	7月	「徒然草」		作品の特色。兼好の主張への理解と考察。
二学期	9月	「伊勢物語」	28h	作品の特色。歌物語について。動詞の変格活用。
	10月	「伊勢物語」		作品の特色。歌物語について。形容詞、形容動詞の活用の種類と活用形。
	11月	「竹取物語」		作品の特色。物語の表現や文学意識への理解と考察。基本重要古語。
	12月	「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」		三大歌集の特色。和歌の修辞。
三学期	1月	漢文入門 「名言」	18h	漢文の特色。訓読の基本(書き下し文のきまり)、再読文字・置き字。
	2月	故事		各登場人物の関係・それぞれの行動や心情への理解・考察。疑問と反語。
	3月	故事		各登場人物の関係・それぞれの行動や心情への理解・考察。疑問と反語。

評価の観点・方法	【観点】①歴史的仮名遣いに注意して音読することができたか。②古語辞典や注釈を活用して、大まかな内容をつかむことができたか。③品詞に注意して、現代語訳ができたか。④古典文法(品詞・動詞・形容詞・形容動詞)を理解することができたか。⑤重要古文単語を覚えることができたか。⑥人物・情景・心情などを的確に捉え、自己の感想・意見を表現することができたか。⑦古典の世界と現代を比較して、人間・社会・自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすることができたか。⑧語彙を豊かにするとともに、表現上の特色を捉えることができたか。【方法】定期テストの得点・小テストの得点・提出物(宿題・ワークシート)の得点・授業態度などを総合的に評価する。
----------	--

令和3年度

年間授業計画

都立板橋高校

教科・科目	国語・古典B	2単位	対象学年・組	2年1組～7組 選択
教科書	古典B (第一学習社)	教科	国語科	
・副教材等	体系古典文法・体系漢文・古文単語315	担当者	渡辺久美子、望月美樹	

目 標	一学期	1学年で学習したことを土台にして、より長く高度な内容の漢文や古文を読み、理解できるようにする。
	二学期	鎌倉期の文章を読み、中世の文章の特色を理解し、思想にも触れる。敬語表現を学ぶ。
	三学期	長編物語に親しむ。漢詩を通して古代中国の思想に触れる。

学期	月	単元	時間	学習内容
一学期	4月	古今著聞集	24h	1学年で学習した文法事項を復習する。
	5月	古今著聞集 漢詩		漢詩の基礎知識を学ぶ。
	6月	方丈記		用言の識別を復習する。助動詞を学習する。
	7月	方丈記		用言の識別を復習する。助動詞を学習する。
二学期	9月	更級日記	28h	平安時代の生活や日記の特色を理解する。
	10月	源氏物語		平安文学の個性や特色を理解する。
	11月	諸家の思想		古代中国の思想を学ぶ。
	12月	諸家の思想		古代中国の思想を学ぶ。
三学期	1月	大鏡	18h	古文の敬語について学ぶ。
	2月	大鏡		古文の敬語について学ぶ。
	3月	諸家の思想		古代中国の思想を学ぶ。

評価の観点 ・方法	<p>次の観点を総合的に勘案し、単に定期考査の成績だけでなく本人の授業に対する姿勢、日常的な努力を見極めながら評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学力に見合った努力と成果を評価する。 ・古典的な文章を読解し、時代特有の文化を理解することができる。 ・出席状況(欠席・遅刻・早退の多さは減点の対象とする)
--------------	---

教科・科目	国語・現代文B		2単位	対象学年・組	2年1組～7組必修
教科書	精選現代文B新訂版(大修館書店)		教科	国語科	
副教材等	精選現代文B 学習課題ノート		担当者	望月美樹 畑直美	
目 標	一学期	導入として短い評論を読み、論理の展開を理解する。著名な韻文作品を読み、人物・心情・情景などを的確に捉え、鑑賞する。様々な文章の読解を通し人間・社会・自然等について自分の考えを深める。			
	二学期	論理的な文章について、論理の展開や要旨を捉える。文学的な文章について、人物・心情・情景などを的確に捉え、表現を味わう。多様な文章を通して、自分の生き方を見つめるきっかけとさせる。			
	三学期	論理的な文章について、論理の展開や要旨を的確に捉える。著名な韻文作品について、そこに描かれた心情・情景などを捉える。多様な文章を通して、自分や自分が生きる世界を捉え直す。			
学 期	月	単 元	時間	学 習 内 容	
一 学 期	4月	詩「樹下の二人」	24h	詩を読み、作者について文学史上の位置づけを理解し、詩に込められている作者の思い、表現の特徴などを学ぶ。	
	5月	評論「対話の精神」 小説「山月記」		筆者のものの捉え方や、それを語るための文章構造を学ぶ。小説「山月記」を読み、漢文訓読調の文体に慣れ、語彙についても理解する。	
	6月	小説「山月記」 評論「豊かさにつながり」		「山月記」を読み、「発狂」に至る主人公の心情や、「虎」に変身した訳を読み取る。筆者の意見の提示の仕方について注意し、その主張を読み取る。	
	7月	評論「豊かさにつながり」		世界の紛争や貧困、難民などの国際問題について自分の意見を	
二 学 期	9月	小説「山椒魚」	28h	ミロのヴィーナスは両腕を失っているからこそ魅惑的であるという筆者の主張と、その論拠を読み取る。	
	10月	小説「山椒魚」 評論「食べ物を『はかる』」		緻密なプロットの組み立て方や、周到に散りばめられた伏線を読み解くことにより、「先生」の生い立ちや人物像を捉える。	
	11月	小説「こころ」		緻密なプロットの組み立て方や、周到に散りばめられた伏線を読み解くことにより、「先生」の生い立ちや人物像を捉える。「乃木大将」、「K」、「先生」の死の意味について考える。人間の置かれた状況と心理・行動との関係について考えさせる。	
	12月	評論「『考える葦』であり続ける」		ソーシャルメディア上の問題を理解し、デジタル化社会を生き抜き、豊かな未来を作り出すためにどうするべきかを読み取る。	
三 学 期	1月	評論「コミュニティから見た日本」	18h	論理的な文章の構造を理解し、筆者の指摘を捉える。	
	2月	評論「コミュニティから見た日本」		論理的な文章の構造を理解し、筆者の指摘を捉える。生徒自身の身の回りの問題について、筆者の主張をもとに考えさせる。	
	3月	詩「永訣の朝」		詩のリズム・表現・構成を理解した上で群読する。作者について理解する。	
評価の観点・方法	<p>観点：①論理の展開や要旨を捉えられているか。②人物・心情・情景等を捉え、表現を味わえたか。③人間・社会・自然等について自分の考えを深めたり発展させられたりできたか。④筆者のものの捉え方・感じ方を理解したか。⑤語句の意味・用法を正しく理解し、表現に生かされたか。⑥真摯な取組ができたか。</p> <p>方法：定期テスト、小テスト、提出物、授業態度、遅刻・欠席・早退などの出席状況等を総合的に評価する。</p>				

教科・科目	国語・現代文B		2単位	対象学年・組	3年1組～7組必修
教科書	精選現代文B (大修館書店)		教科	国語科	
副教材等	現代文B 学習課題ノート		担当者		
目 標	一学期	・評論の要旨を捉えて構成を把握し、内容を的確に理解する。 ・日本の近代文学の傑作の一つを読み、小説の鑑賞力を養い、人間の心についての考察を深める。・構成を理解して読み味わい、人生、社会について思索を深める。			
	二学期	・評論の読解によって、現代社会に対する問題意識を鮮明にさせる。 ・日本の近代文学の傑作の一つを読み、人生、社会について思索を深める。			
	三学期	・詩に描かれた作者の思いや、社会に対する考えを、レトリックの効果に意識的になることによって読み取る。			
学期	月	単元	時間	学習内容	
一学期	4月	「贈り物」としてのノブレス・オブリージュ	24h	文章の論理構造に着目して評論文を読み解く力を養う。才能に伴う返礼義務についての筆者の主張を読み取る。	
	5月	「赤い繭」		激動の近代化の中に生きる主人公とその周辺人物との人間関係読み取り、それぞれの心情をつかむ。	
	6月	「「である」ことと「する」こと」		文章の論理構造に着目して評論文を読み解く力を養う。さまざまな例を用いて述べられた、「する」ことによって初めて「である」という筆者の主張を読み取る。	
	7月	「「である」ことと「する」こと」		文章の論理構造に着目して評論文を読み解く力を養う。「する」ことによって初めて「である」という筆者の主張について、自分の人生を見つめ直しながら考えを深める。	
二学期	9月	「生物多様性の恩恵」	28h	論理的な文章の読解力を高め、論理的思考力を養う。「生物多様性」の関係システムについて認識を深める。	
	10月	「生物多様性の恩恵」		筆者の論理展開の仕方や用語の概念規定を理解し、世界環境における「生物多様性」の課題について認識を深める。	
	11月	「檸檬」		「不吉な塊」によって「以前」の「私」と「その頃」の「私」がどう変わってしまったのか把握する。「その頃」の「私」が好きだったものを把握する。	
	12月	「檸檬」		檸檬による「私」の感情の変化を把握する。目まぐるしく変化する「私」の心の変化をおさえる。店を出た後、檸檬を爆弾に見立てた想像をすることの意味を考える。	
三学期	1月	「短歌・俳句」	18h	短歌・俳句に描かれた作者の思いや、社会に対する考えを、レトリックの効果に意識的になることによって読み取る。	
	2月	質問対応		質問対応	
	3月	質問対応		質問対応	
評価の観点・方法	<p>観点：①論理の展開や要旨を捉えられているか。②人物・心情・情景等を捉え、表現を味わえたか。③人間・社会・自然等について自分の考えを深めたり発展させられたりできたか。④筆者のものの捉え方・感じ方を理解したか。⑤語句の意味・用法を正しく理解し、表現に生かされたか。⑥真摯な取組ができたか。</p> <p>方法：定期テスト、小テスト、提出物、授業態度、遅刻・欠席・早退などの出席状況等を総合的に評価する。</p>				

令和3年度 年間授業計画”

都立板橋高校

教科・科目	国語・国語表現	2単位	対象学年・組	3年1～7組 必修選択A・C類
教科書	国語表現（大修館書店）	教科	国語科	
・副教材等	国語表現基礎練習ノート	担当者	畑 直美	

目 標	一学期	・文章を書くことに慣れる。 ・作文と小論文の違いを理解する。 ・文章表現の基礎を習得する。 ・語彙の力を付ける。
	二学期	・論理的な文章を書くことに慣れる。 ・時事問題、頻出課題の演習をする。
	三学期	・自分史を執筆する。

学 期	月	単 元	時 間	学 習 内 容
一 学 期	4月	表現の基礎	24h	・オリエンテーション ・原稿用紙の使い方 ・文体の統一
	5月	表現の基礎		・係り受けの関係(主語と述語、修飾語と被修飾語) ・副詞の呼応
	6月	表現の基礎		・話し言葉と書き言葉 ・敬語の基礎 ・よりよい表現を求めて
	7月	表現の実践		・作文と小論文の違い ・論理的な文章
二 学 期	9月	表現の実践	28h	・文章の論理構成を考えて書く ・時事問題、頻出課題の演習を行う
	10月	表現の実践		・文章の論理構成を考えて書く ・時事問題、頻出課題の演習を行う
	11月	表現の実践		・文章の論理構成を考えて書く ・時事問題、頻出課題の演習を行う
	12月	表現の実践		・新聞の社説を読み、意見文を書く
三 学 期	1月	表現の探求	18h	・自分史を執筆する
	2月	同上		同上
	3月	同上		同上

評価の観点 ・方法	次の事項を総合的に勘案し、本人の授業に対する姿勢、日常的な努力を見極めながら評価する。 ・小テストの成績(原則として毎回実施する) ・課題の提出状況 ・出席状況
--------------	---

教科・科目	国語 ・ 小論文演習		2単位	対象学年・組	3年1～7組 必修選択B類
教科書 ・副教材等	小論文を書くための基礎知識BOX 及び マスタードリル		教科 担当者	国語科 喜入克・渡辺久美子	
目 標	一学期	・文章を書くことに慣れる。 ・作文と小論文の違いを理解する。 ・文章表現の基礎を習得する。 ・自分を表現する。社会問題に触れる。			
	二学期	・論理的な文章を書くことに慣れる。 ・時事問題、頻出課題の演習をする。			
	三学期	・実用的な表現方法の常識を覚える。			
学 期	月	単 元	時間	学 習 内 容	
一 学 期	4月	表現の基礎	24h	・オリエンテーション ・と小論文の違い ・文体の統一 ・話言葉と書け言葉の使い分け	
	5月	表現の基礎		・自己を見つめて表現する。	
	6月	表現の基礎		・問われている内容を正確に読み取る ・説得力のある文章の書き方	
	7月	表現の実践		・要約 ・問題の原因を考える・問題解決方法を考える。	
二 学 期	9月	表現の実践	28h	・自分の意見の根拠を示す ・別の考え方の想定	
	10月	表現の実践		・効果的な段落構成・データや図表を読み取る ・推敲の方法	
	11月	表現の実践		・小論文の評価 ・入試小論文の型	
	12月	表現の実践		・入試小論文の実践	
三 学 期	1月	表現の探求	18h	・日常生活に役立つ表現を覚える。	
	2月	同上		同上	
	3月	同上		同上	
評価の観点 ・方法	次の事項を総合的に勘案し、本人の授業に対する姿勢、日常的な努力を見極めながら評価する。 ・小テストの成績 ・課題の提出状況 ・出席状況・授業中の取組状況				

令和3年度

年間授業計画

都立板橋高校

教科・科目	国語・現代文演習		2単位	対象学年・組	3年必選AC・自選
教科書	(いいずな書店)		教科	国語科	
・副教材等	プログレス現代文 完成編		担当者	望月美樹	
目 標	一学期	問題演習を通して・随想から筆者のものの見方・考え方・感じ方を読み取り、日常を超えたものの普遍性・精神性について思考を深める。・評論の要旨を捉えて構成を把握し、内容を的確に理解する。・小説の登場人物の人物像・心情の推移を把握し、特色のある表現を読み味わうなどの力を養う。			
	二学期	問題演習を通して・作品の構成を理解して小説を読み味わい、人生、社会について思索を深める。・客観的記述と主観的記述を明確に区別し、論理展開を的確に捉えるなどの力を養う。			
	三学期	問題演習を通して読解力の完成を図る。			
学 期	月	単 元	時間	学 習 内 容	
一 学 期	4月	問題番号1・2	24h	問題演習 及び問題文の分析、語彙及び読解の完成	
	5月	問題番号3～6		問題演習 及び問題文の分析、語彙及び読解の完成	
	6月	問題番号7～9		問題演習 及び問題文の分析、語彙及び読解の完成	
	7月	問題番号10及 び期末考査解		問題演習 及び問題文の分析、語彙及び読解の完成	
二 学 期	9月	問題番号11・12	28h	問題演習 及び問題文の分析、語彙及び読解の完成	
	10月	問題番号13～15		問題演習 及び問題文の分析、語彙及び読解の完成	
	11月	問題番号16～18		問題演習 及び問題文の分析、語彙及び読解の完成	
	12月	問題番号19及 び期末考査解		問題演習 及び問題文の分析、語彙及び読解の完成	
三 学 期	1月	問題番号20及び 大学過去問演習	18h	問題演習 及び問題文の分析、語彙及び読解の完成	
	2月	質問対応		質問対応	
	3月	質問対応		質問対応	
評価の観点 ・方法	欠席・遅刻などの出席状況、授業態度、小テスト・考査成績、提出物(要約ノート の取り組み)などを総合的に勘案し評価する。				